

## 特集

# ひょうごの企業立地

近年、企業立地件数で常に上位を占める兵庫県。2009年上期の工場立地件数は33件、工場立地面積は37haでともに全国1位となった。なぜ兵庫県は企業立地先として選ばれるのか。県内の産業団地の中でも代表的なポートアイランド第2期、ひょうご情報公園都市、播磨科学公園都市に進出した企業と、廃校を利用して進出した企業の計4社を取材した。

## 中国最大規模の日用品メーカーが神戸に ポーアイ2期に米国に次ぐ国外研究開発拠点を開設 株式会社Beauty&Health Innovation



楊建中社長

中国の大手日用品メーカー、江蘇隆力奇生物科技(以下隆力奇、本社・蘇州市)が2009年4月、米国・ニューヨークに次ぐ国外の研究・開発拠点として、Beauty&Health Innovation(以下BHI)をポートアイランド第2期に設立した。当面は、隆力奇ブランドのヘアケア関連製品の研究開発に注力し、日本企業からの受託開発のニーズにも応える。楊建中社長は「日中双方が持つ良いところをつないで両国の架け橋になりたい」と話す。



親会社である隆力奇の商品群

## トップの熱い思いに打たれ

隆力奇は、ハンドクリームで中国国内トップシェアを誇るほか、シャンプー、リンス、洗剤などを扱うメーカーで、昨年の売り上げは約1,000億円。中国の日用品メーカーとしては最大規模で、「日本の花王さんをイメージしてもらおうと分かりやすいでしょう」。

楊社長は中国の大学を卒業後、日本の大学院に留学し、米国での博士研究員を経て、米国P&Gに入社。ヘアケア関連商品の首席研究員として日米両国の研究所を歩き来し、直近は神戸・六甲アイランドに本社を持つP&G ジャパンに勤務していた。

特許申請100件以上、論文発表50報の実績を持つ楊氏が2年前、中国・上海で開かれた国際学会で講演した際、隆力奇の創業者である徐之偉会長から「うちのヘアケア商品の研究開発を担ってくれないか」と声が掛かり、その時の徐会長の熱い思いに打たれたという。「中国国内のヘアケア商品は、まだ外資系が半分以上のシェアを占めています。その状況を何とか打破したいという思いが一つ。そして、中国の国民の95%が買えるような、品質が良くて、より低価格の商品を開発したいという思いがもう一つ。いずれもわたしがかねてから抱いていた思いと合致しました」

## 迷うことなく日本を選ぶ

新たな人生を決意した楊社長は、徐会長に「君が研究に専念できると思える場所なら、ニューヨーク、北京、上海、日本どこでも好きな拠点を選んでいい」と言われ、迷わず日本を選んだ。

その理由は二つあった。「一つには、日本が、技術力、もてなしの心、几帳面さなどソフトパワーの面で世界に勝るものを持っているからです。それらを、当社を通じて親会社に吸収させることができれば、さらなる飛躍につなげることができます。もう一つは、日本の消費者の意識を変えたいということ。日本は優れた品質の商品を作ることが得意ですが、その分どうしても価格が高くな

ってしまいます。わたしたちは、日本ほどではないにせよ信頼できる品質の商品を作る力が付いてきました。しかもそれを日本の商品の何分の一という価格で提供する力を持っています。隆力奇の商品は安くても良いものだというように、日本人の意識を変えたいと思ったのです」。

### 仕事と生活のバランスを考え神戸に

日本における進出地を選ぶに当たって最も重視したのは「仕事と生活のバランス」だという。「ビジネスだけを考えるなら東京がいいでしょう。でもあのラッシュ、人込みの中にいるだけで人は疲れてしまいます。神戸は大都市でありながら、山と海という自然に恵まれ、ゆったりとした気持ちで生活ができます。わたしたち外国人にとってありがたいのは、外国人学校や病院などの生活基盤が神戸に集結しており、非常に暮らしやすいということ。日本中どこを探してもこれだけ条件がそろった都市は少ないと思います」。2009年4月、BHIは、隆力奇から50%の資本参加を受けて神戸の地に設立された。

BHIが入居するのは、神戸医療産業都市構想が進むポートアイランド第2期の神戸国際ビジネスセンター。事務部門は6階、研究開発室は3階と使い分けている。「研究開発用の部屋を一つの建物内で借りられる施設は数少ない。また、使う頻度の少ない電子顕微鏡などの装置については、隣接する公的施設で借りることができるのもメリット」と楊社長。いずれは、周辺に集積する医療関連企業と研究開発面で連携することも視野に入れている。

### 研究開発成果を基に商品化第1号

現在の研究スタッフは6人。その一人、製品開発部取締役部長の高田耕二氏は、P&G時代に楊社長の部下だった人材だ。「楊社長はとても穏やかで、自主性を尊重してくれます。楊社長の下でなら、とBHIへの入社を決めました。隆力奇ブランドを育てていくために貢献できればと考えています」と高田氏は生き生きとした表情で語る。

同社は設立3年目までを第1ステージと位置付けており、主にヘアケアの最先端技術開発に注力する。すでにヘアケア分野では、BHIでの研究成果が生かされた第1号商品として、頭皮に有効成分を効率的に運ぶ成分を含んだフケ防止のシャンプー、リンスを3月に中国で発売することが決まっている。

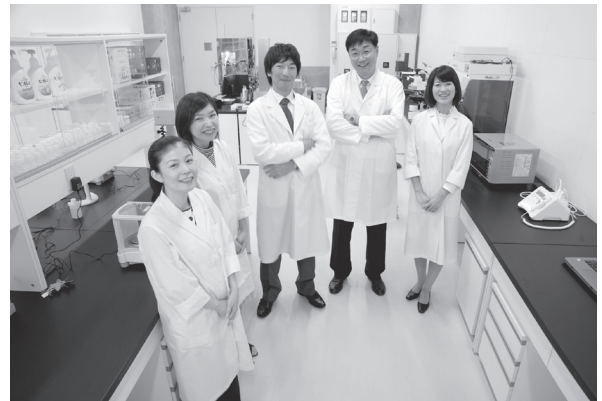
### 日用品、化粧品開発の基地に

研究成果については、隆力奇へのフィードバッ

クが主体となるが、日本企業との提携も考えている。「研究開発はBHIで、生産は中国で行うことで、良いものを手ごろな価格で販売するお手伝いができます」。すでに、日本企業のほか米国や中国の企業からの受託案件の開発も進んでいるという。また、日本の特色のある製品を中国へ紹介する一方、隆力奇の商品を安価で日本に輸入し、販売することも考えている。

現在、研究スタッフ6人のうちヘアケア分野が5人、スキンケア分野が1人という構成だが、今後はヘルスケア、オーラルケアなどの分野の研究員の充実を図っていく予定。「日本には非常に優れた研究スタッフがそろっています。そうした人材を首席研究員に据えた研究開発体制を整え、徐々に研究開発分野を広げていき、いずれはBHIを隆力奇グループにおける日用品、化粧品開発の基地にしたい。また、近い将来、隆力奇から人材を受け入れ、BHIで研修をするカリキュラムも考えていきたい」と今後への意気込みを語る。

長年、神戸に暮らし、日本人のソフトパワーに一目置く楊社長。「お互いの良いところを受け入れれば、日中両国にとってハッピーなこと。その架け橋の役割を果たしたいと思っています」。穏やかな話しぶりの中に確固とした信念が貫かれている。



研究スタッフ

### 会社概要

株式会社 Beauty&Health Innovation

本社：神戸市中央区港島南町5-5-2  
神戸国際ビジネスセンター 3F/6F

代表取締役社長：楊建中

事業内容：化学薬品、医薬部外品、化粧品および健康食品  
の研究、開発、製造、販売、輸出入

設立年月：2009年4月

従業員：14人

TEL：078-381-5302

FAX：078-303-3077

URL：http://www.bhinova.com/